

しむかつぷ ぎかいだより

No.183

2025年 7月号
(令和7年)



第2回 定例会 ～令和7年度補正予算可決～ 第3回 臨時会 ～避難所(占冠中学校)改修へ～

📷 今月の表紙 『占冠保育所運動会』

6月21日に行われた保育所運動会開会式でくま組さん
(年長組)による選手宣誓の一枚



≪ 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。 ≫

- 第2回定例会 p 2
- 議員派遣 p 4
- 村長の行政報告 p 5
- 第3回臨時会 p 5
- 広域連合議会臨時会報告 p 6
- 一般質問 7議員 p 7
- 議員の主なうごき p14

年度補正予算可決 (占冠中学校)改修へ

令和7年 第2回定例会

- 会 期 6月23日から25日まで（3日間）
- 一般質問 7議員
- 審 議 条例、令和6年度補正予算、令和7年度補正予算など計17件をすべて原案とおり可決
- 傍 聴 23日…1人 25日…1人

条例の一部改正 (専決処分)

▼占冠村税条例の一部改正

個人住民税における大学生年代の子等に関する特別控除の創設のほか、軽自動車税種別割における二輪車の税率区分、村たばこ税の課税標準の特例の改正等を行うものです。

問 木村議員

たばこ税課税標準の特例の改正に係る施行期日の考え方を伺います。



三浦総務課長

8年4月1日、令和8年10月
激変緩和措置として、令和

1日の二段階で課税方式の見直しを行うものです。

令和6年度補正予算 (専決処分)

※主な内容は左表のとおり
〔一般会計 第9号補正〕

問 木村議員

個人住民税の滞納繰越分の増額計上について内容を伺い

三浦課長

調定額に対する収納率30.4パーセント相当分を増額計上しました。令和6年度より差押を精力的に行い、53件を執行するなど成果があがっています。

問 木村議員

多量ごみ手数料の増額補正が今回含め2回行われており、当初予算の見積りが甘かったのではと考えるが見解を伺います。

岡崎建設課長

観光入込客の増加もあり、処理数量が当初見込みより大

幅に増加しました。事業系ごみが大半を占めていることから、説明会などごみの減量化につながる取組を進めます。

問 木村議員

活力あるむらづくり対策事業補助金が執行されず、全額が減額補正されているが、事業者にとって使い勝手が悪いことに加え、制度の周知が不十分なのが要因と思うが考えを伺います。

平岡企画商工課長

事業者のニーズは多種多様であり、事業内容の精査は必要と感じています。制度の周知については再度商工会を通

令和6年度 補正予算(専決処分)

一般会計(第9号) … 9,940万円減

総額 30億2,940万円→29億3,000万円

- ・富良野広域連合負担金 1,070万9,000円減
- ・占冠村むらびと基金積立金 624万8,000円増
- ・介護保険会計繰出金 …………… 770万円減
- ・トマム給油所指定管理料…………… 689万円減
- ・公債費(長期債年賦元金) 492万4,000円減
- ・職員費(給与、手当、共済費等) …………… 3,787万4,000円減
- ・その他執行予算残の整理による減額など

国民健康保険(第5号) 1,450万円減

総額 1億3,900万円→1億2,450万円

- ・療養給付費 …………… 1,060万3,000円減
- ・その他執行予算残の整理による減額など

村立診療所(第3号) …… 160万円減

総額 8,360万円→8,200万円

- ・執行予算残の整理による減額など

介護保険(第3号) …… 800万円減

総額 1億2,360万円→1億1,560万円

- ・各種介護サービス等給付費…………… 2,250万円減
- ・介護保険給付費準備基金積立金 1,570万円増
- ・その他執行予算残の整理による減額など

後期高齢者医療(第3号) 40万円減

総額 2,180万円→2,140万円

- ・保険料等負担金 …………… 40万円減

歯科診療所(第3号) …… 60万円減

総額 2,270万円→2,210万円

- ・執行予算残の整理による減額など

第2回 定例会

第3回 臨時会

じて行います。

【介護会計 第3号補正】

問 大谷議員

今回新たに計上された介護保険給付費準備基金積立金1,570万円の内容を伺います。



石坂福祉子育て支援課長

令和7年度において見込まれる国・道に対する介護給付費負担金等の返還分として1,070万円、今後における介護給付費の増加に備え、余剰金から500万円を積み立てるものです。

令和6年度 一般会計繰越明許費

令和6年度事業費を令和7年度に繰り越して支出しようとするものです。

○社会保障・税番号制度システム整備事業

191万5,000円

○物価高騰対策重点支援給付金事業

222万1,000円

○健康管理システム改修事業

118万8,000円

合計 532万4,000円

議決

▼占冠村過疎地域持続的発展市町村計画の変更

過疎対策事業債を活用し、同計画に基づく過疎地域の持続的発展を図るため、計画に「森林資源活用整備事業」「移住定住促進村有住宅整備事業」を新たに追加するものです。

問 木村議員

令和3～7年度の中期計画を最終年に変更することに疑問があります。入念な計画のもとに当初から盛り込むべきだったと考えるが見解を伺います。

平岡課長

計画策定段階では新たな施設整備の検討が進んでいなかったため、今回の計画変更に至りました。

▼工事請負契約の締結

・契約目的

中央地区移住定住促進村有住宅整備工事

・契約方法

指名競争入札

・契約金額 5,192万円

・契約相手方

(株)廣野組(旭川市)

問 小尾議員

楓A棟の外壁、屋根の改修工事とのことですが、工期及び工事期間中の入居者への配慮について伺います。



改修予定の楓A棟

岡崎課長

工期は11月28日までを予定しており、工事にあたっては入居者に事前周知を行うとともに、早朝・夜間の作業は控えるよう配慮します。

▼財産の取得

・取得財産

庁内ネットワークシステム

・取得方法

北海道市町村備荒資金組合
防災資器材譲渡事業

・取得価格 2,420万円

・取得先

北海道市町村備荒資金組合
(札幌市)

▼財産の減額貸付

・貸付財産

土地(2,000㎡)、建物
(木造平屋建て4棟 30
4.7㎡)、物品(油圧ショ
ベルグラップルソー仕様他
4物件)

・貸付相手方

(株)森総 占冠支店

・貸付期間

契約締結日から令和11年3
月31日まで

・貸付金額 年額12万円

問 小尾議員

既に耐用年数を経過した物品は更新の検討も必要だが、相手方との協議が行われているか伺います。

鈴木農林課長

古い機械類は村で処分することも考えていましたが、相手方より借受希望があったため引き続き貸付を行うものです。

問 藤岡議員

機械類のメンテナンス費用の負担方法について伺います。



鈴木課長

日常的な使用における修繕は借受側において行うこととしています。大規模修繕が必要となった場合は双方協議により決定します。

問 木村議員

以前は占冠村木質バイオマス生産組合に無償貸付を行っていましたが、今回有償貸付となることにより法

的な責務がどのように変化するのか伺います。

三浦課長

民法606条において賃貸人が使用・収益に必要修繕を行うことが規定されていますが、当事者間の協議



減額貸付される新生産施設

により特約を付すことが可能なため、修繕義務は軽減されているという整理になると考えます。

問 大谷議員

新生産が新たな企業に継承されましたが、湯の沢温泉や各種公共施設への薪の供給に問題ないか伺います。

鈴木課長

湯の沢温泉と占冠保育所への供給は確実に確保するように依頼しています。一般家庭向けについても問題なく生産が進められています。

令和7年度補正予算

※主な内容は左表のとおり

令和7年度 補正予算

一般会計(第1号) 7,940万円増

総額 32億6,510万円→33億4,450万円

- ・固定資産税標準地鑑定評価業務 178万2,000円増
- ・带状疱疹ワクチン接種委託料 269万2,000円増
- ・村の木活用事業2.0(シュガーハウス設計委託、工事請負費) 6,411万9,000円増
- ・公債費(長期債年賦元金) 500万円増など

一般会計(第2号) ... 470万円増

総額 33億4,450万円→33億4,920万円

- ・簡易水道事業会計繰出金 270万円増
- ・予備費 200万円増

簡易水道(第1号) 増減なし

企業債(4,020万円)の変更

- ・廃止 緊急防災・減災事業債
- ・追加 簡易水道事業債

簡易水道(第2号) ... 270万円増

収益的支出総額
1億3,750万7,000円→
1億4,020万7,000円

- ・双珠別浄水場配水流量計交換修繕 270万円増

簡易水道については歳入と歳出の総額が異なるため、歳出総額を記載しています。

人事案件

占冠村監査委員の選任同意



字中央
藤本 重克氏
(新)

決議

▼議会広報特別委員会の設置

後期(令和7年6月から令和9年4月まで)の特別委員会設置を可決しました。
なお、互選により委員長に藤岡幸次氏、副委員長に小林潤氏が選出されました。

議員派遣

●北海道町村議会議員研修会(7月8日 札幌市)

全道144町村の議会議員の参加により開催され、本村からは全議員が参加しました。

はじめに、西南学院大学法学部教授の勢一智子氏より「地方議会における議員の多彩化に向けて」地域社会の「鏡」としての議会を考える」と題した講演を受けました。『ジェンダー・バイアス(男女の役割に対する固定的観念)』や『アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)』の解消により、議員のなり手不足や若者・女性が議会に挑戦しづらい環境を変革し、





多様な人材が参画できる地域社会の構築に向け、議員が次世代の育成に努力すべきと訴えられました。

続いて、人口戦略会議副議長 増田寛也氏から「人口減少社会を生き抜くために」と題した講演を受けました。人口減少の局面にあって、地方の持続には「東京一極集中の是正」と「二拠点居住の制度化」が重要であるとともに、自治体業務の市町村間や民間との連携、AIをはじめとしたデジタル技術の活用が欠かせないと訴えられました。また、他地域の好事例の説明を受け、我々議員も地域の魅力を高める戦略的な発想を持つことの必要性を改めて認識することができました。



村長の行政報告

令和7年度第1回占冠村ヒグマ市街地侵入対応訓練について

ヒグマによる危険に対し、支援体制を組む村職員や、ご協力いただく捕獲従事者、警察署との連携を強化しつつ全体の能力を高めるため、6月4日に上トマムにてヒグマの市街地侵入を想定した実地訓練を富良野警察署と共同で実施しました。

訓練には、トマム支所、トマム保育所、富良野消防署占冠支署、トマム学校も加わり、保育所と学校の安全確保や、対応要員の到着までの所要時間も織り込むなど、上トマムの地域特性に沿った想定としました。

当日は、地域住民、道庁



ヒグマ対策室等関係機関が訓練を視察したほか、村と連携協定を結ぶ酪農学園大学の教員と学生が訓練の進行を支援しました。訓練の成果として、具体的な行動指針や留意事項を共有することにより、捕獲従事者が状況をよく観察し、適切に判断、行動できたことが挙げられます。また、ヒグマと直に接する局面での対応能力に課題を見出すこともできました。今後方法工夫しながら関係者の研修、訓練を催してまいります。

議決

▼工事請負契約の締結

- ・契約目的
避難所設備改修工事
- ・契約方法
指名競争入札
- ・契約金額
7,150万円
- ・契約相手方
後田設備工材(株)
(富良野市)

問 小尾議員

工事の概略、工期及び入札にあたっての指名業者数を伺います。

木村教育次長

占冠中学校の1階トイレを多目的トイレに改修し、併せて屋外排水管、玄関スロープも改修するとともに、温水給湯設備を整備し



改修予定の占冠中学校トイレ

令和7年 第3回臨時会

- 会 期 7月15日(1日間)
- 審 議 工事請負契約、令和7年度補正予算の2件を原案どおり可決
- 傍 聴 1人

令和7年度補正予算

入札指名業者は5社であり、工期は令和8年2月27日までとしています。

※主な内容は次頁のとおり

〔一般会計 第3号補正〕

問 木村議員

小型ピロプラズマ症対策事業補助金の内容を伺います。

鈴木農林課長

昨年、串内牧場において富良野管外の乳牛が小型ピロプラズマ症に感染したことから、感染症対策の一環として、今年の入牧時に抽出で検査を行ったところ、本村の農家より預託された乳牛7頭の感染が確認されました。

については、当該農家が飼養している乳牛のうち、昨年串内牧場に入牧した117頭、2歳以下以下の未抗体牛119頭の検査を行うため、自衛防疫組合に対し検査費用を補助し、対策を講じていただくものです。

問 木村議員

観光費の修繕料の内容を伺います。

平岡企画商工課長

いずれも湯の沢温泉に係る修繕であり、熱交換器、

給湯配管の減圧弁・安全弁及び接続配管の老朽化により早急な取換が必要となったため実施するものです。

問 木村議員

道路維持費の原材料費の内容を伺います。

岡崎建設課長

村道維持に使用する砂利、焼砂の在庫が枯渇したため購入するものです。

令和7年度 補正予算

一般会計(第3号) 530万円増

総額 33億4,920万円→33億5,450万円

- ・村有地等環境整備委託料 40万2,000円増
- ・小型ピロプラズマ症対策事業補助金 27万円増
- ・湯の沢温泉施設修繕料 271万2,000円増
- ・道路維持用原材料費 173万3,000円増など

令和7年 第1回富良野広域連合議会臨時会報告

令和7年第1回富良野広域連合議会臨時会が6月13日（金）に開催され、議案6件（補正予算1件、財産の取得3件、人事案1件、その他1件）、報告2件が原案のとおり可決されたほか、欠員となっていた常任委員会委員及び議会運営委員会委員の補充選任が行われました。

可決された案件は次のとおりです。

補正予算

- 令和7年度富良野広域連合一般会計補正予算（第2号）
歳入歳出それぞれ 583 万 6,000 円を追加
総額 25 億 1,012 万 6,000 円 →
25 億 1,596 万 2,000 円

財産の取得

- 富良野消防署：災害対応特殊救急自動車
- 富良野消防団：消防ポンプ自動車（2件）

人事案

- 監査委員の選任について（前野仁志議員）

その他

- 自動車事故の損害賠償及び和解について

報告

- 専決処分報告について
令和7年度富良野広域連合一般会計補正予算（第1号）
歳入歳出それぞれ 152 万 9,000 円を追加
総額 25 億 859 万 7,000 円 →
25 億 1,012 万 6,000 円
- 繰越明許費繰越計算書について

※富良野広域連合は、富良野地方5市町村で組織され、消防、串内牧場、環境衛生センター、学校給食センター等の事務を効率的に行うための特別地方公共団体です。



きむら かずとし
木村 一俊 議員

▶トマムにおける救急医療への対応

1 地域住民への対応

問 村の人口構成をみれば、トマムにおける人口の増加は顕著であり、今や中央を凌ぐ状況となっています。救急医療において大切なことは、いかに迅速に的確な医療機関に繋ぐか、ということです。地元で救急車の配備はありませんので富良野協会病院で処置を受けるまで2時間以上かかる訳です。救急車の配置或いは行政・リゾート企業・住民等協働での搬送システムの構築や十勝医療圏への搬送を常態化することはできないのか伺います。

田中村長

トマムでの救急車の配備や運送システムの構築は、設備投資や人員配置など多額の財政出動を伴うことから、難しいと考えています。十勝医療圏への搬送についても、村が富良野二次医療機関に属することから常態化は困難と考えます。

2 トマム・リゾート利用者、観光客への対応

問 村における救急要請は増加傾向にあります。昨年12月に協会病院から富良野広域連合消防占冠支署に対して、トマムの外国人宿泊者の軽症症例での救急搬送が頻発しているため、救急車の適正利用を示唆されました。前年度決算赤字を抱える協会病院は大変な状況であり、使命感を持ち、懸命に救急対応を担う村の救急隊員においても、このような評価では誠に気の毒と思います。リゾートにおける適切な救急車の利用や救急医療対応について行政・企業一体となった取組が必要と考えますが村長の考えを伺います。

田中村長

救急車の適正利用は社会的な問題と考えています。村は消防占冠支署やリゾートと定期協議を行い、情報共有をしています。救急搬送の要否判断やオンラインでの病院への相談について

の仕組み作りなど、調査・検討を進めてまいります。

3 歯科救急への対応

問 トマムの歯科診療が2週間に1回となり、地域別の人口構成を考えるとおかしな状況となっています。歯科診療所特別会計は税金で運営され、納税者がこのような不利益を受けるのは理解できません。歯科治療の効率化を考えるならば、トマムでの診療はやめて中央での診療に集約した方がよいと思われるのですが、

しかし、住民の利便性を考慮するならば、地元での週1回の診療を維持すべきであり、そのためには代診や派遣医での対応を考えるべきと思いますが、村長

の考えを伺います。

田中村長

今年度からトマム地区住民を対象として、中央での受診を望まれる方の送迎を行っています。まだ送迎実績はありません。私としてはトマム地区の週1回の診療は、必ずや元に戻して実施したいと考えています。



トマム歯科診療所

▶公有財産の維持管理

▶空き家対策



お び まさひこ
小尾 雅彦 議員

1 公有財産の維持管理

問 村が所有する土地・建物等に、雑草が伸び放題で環境や景観を損ねている箇所が見受けられます。定期的な草刈り等の維持管理が必要と思いますが村長の考えを伺います。

田中村長

村有施設は各担当部署において維持管理の契約を締結し、また、地域ボランティアの皆様の御協力も得て草刈り等を行い、適切な環境景観の維持に努めています。使用されていない土



草刈りが行われた村有地

地は、必要に応じてファミリーサポートセンターと連携しながら必要な維持管理を行っています。

再問 各担当部署で所管している箇所で実施しているとのことですが、管理が行き届いていません。

田中村長

公有財産の全てにおいて、100%を望むのは予算上の兼ね合いから無理であり、村が管理を全くしていない箇所があれば御指摘をください。

問 宮下地区の村職員住宅は、現在入居実態がなく、長年放置されています。築50年程が経過しており、今後、入居予定がないのであれば取り壊しを含めて検討すべきと思いますが、考えを伺います。

田中村長

令和5年度を最後に入居者がいない状況となっています。高速道路等の工事に伴い、活用いただける事業者がいなか、随時働きかけを行っていますが、今の



宮下地区の職員住宅

ところ利用に至っていない状況です。

問 土地の分譲対策について、村による取組の現状を伺います。

田中村長

現在は移住や住宅建設を希望される方からの要望に合わせて、随時村有地の公募を行っています。土地開発公社が解散され、宅地造成などの事業ができない状況ですが、現在ある宅地分譲予定地のご紹介は継続させていただいております。

2 空き家対策

問 空き家バンク等の登録もないまま長年維持管理が行われず、放置されている空き家が村内に点在しています。隣人の村民が多大な迷惑を被っているケースもあり、大変問題があると思っています。これまでの対策について伺います。また、所有者に対して固定資産税の上乗せ課税や廃屋の取り壊し方策も検討してはいかがかと思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長

村では廃屋除去事業補助規則を制定し、過去3年間で令和4年度1件、令和5年度2件、令和6年度1件の交付実績があります。固定資産税の上乗せは現状考えていませんが、今年度の固定資産税納税通知書の発送の際、空き家の適正管理のお知らせを同封する他、村広報へ掲載し適正管理を促すこととしています。



こばやし じゅん
小林 潤 議員

▶新規採用職員の内定辞退について

1 新規採用職員の内定辞退について

問 4月27日の道新で北海道内の自治体で新規採用職員の内定辞退者が続出しており、この理由は民間企業や他の官公庁との併願が多かったためと見られ、学生優位の売り手市場が続く中、自治体が人材確保に苦慮している現状が浮かんだと報道されています。過去には、本村でも内定辞退者がいたことを記憶しておりますが、2025年度採用職員のうち、内定辞退者がいたのか、また募集に応募がなかったケースがあったのか伺います。

田中村長

近年の人員不足の中で、民間企業や他自治体との併願に備えるために、多めに内定を出すようになったため辞退率も高くなっているという事情もあるようです。占冠村における

2025年度の上川管内町村等職員採用資格試験では、一般職若干名、林業職1名、保健師1名、保育士1名を募集しました。そのうち応募がなかったのは、保健師と保育士です。林業専門職2名は内定辞退となり、一般職については1名が受験し、採用となっています。

問

人材確保が難しいことは分かりました。応募のなかった保健師、保育士の現場では、他の職員の負担が増して慢性的な過重労働に繋がりが、体調を崩したりして離職者が増えていく負のスパイラルに陥ります。欠員の生じている職場の労働環境をどのように考えているのか、また、急な募集が必要な時の対応について伺います。

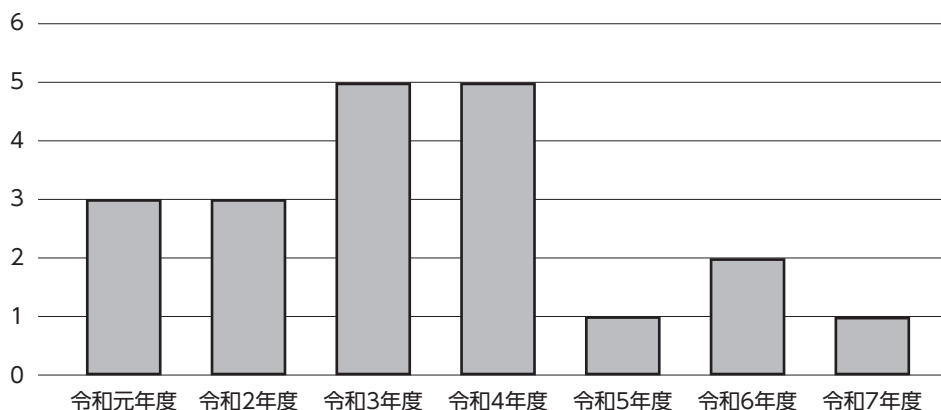
田中村長

職場の労働環境を維持するため引き続き人員の確保

に努めることが大事であると思っています。併せて、職員の定期検診の受診、メンタル対策、庁舎の空調設備の改善など、様々な取組を進める必要があると考えています。また、急な退職などにより速やかな人員補充の必要が生じた場合は、ハローワークや転職サイトなどを活用し、中途採用の募集を行うなど、迅速な補充に努めてまいります。

占冠村職員採用者の推移

採用者人数(人)



▶道の駅周辺整備計画

▶道の駅リニューアルと防災道の駅計画を



ほそや まこと
細谷 誠 議員

1 道の駅周辺整備計画

問 令和7年度道の駅周辺整備計画の進捗状況と今後の予定を伺います。

田中村長

令和7年3月に道路等の概略設計が完成し、内部調整を行い、次年度に向けて計画的に進めてまいります。

問 駐車場出入口は大型バス・トレーラーが対向車線にはみ出し、民家も近くにあつて非常に危険な状態です。改善策など計画に盛り込まれているのかを伺います。

田中村長

駐車場の出入口については、一部、一方通行的な要素も加えながら、大型車両がスムーズに通行・駐車できるスペースの確保を含め検討していきます。

問 道の駅ポケットパークの噴水は、衛生上の問題でほとんど稼働していないが、今後どの様に考えているか伺います。

田中村長

道の駅ポケットパークの



道の駅ポケットパーク

噴水は、アスペン市にある噴水をイメージして作られ、夏場の観光客の憩いの場となっていることから、できるだけ稼働は続けたいが、周辺整備と合わせて検討したいと考えています。

問 道の駅横の花壇用地の取得について進捗状況を伺います。

田中村長

もうしばらく時間は要しますが、慎重に用地取得に向け進めてまいりたいと考えています。

問 各地で起きる道路陥没、水道管破裂は衝撃です。道の駅は国道に面していて歩道部分が、下水道になつていないかと思いますが下水道

埋設管のインフラ点検は行われているのか、また全村的な点検、整備、修繕計画はあるのか伺います。

田中村長

本村の下水道事業は、最も古い管渠は37年経過し、耐用年数は50年とされています。今後、令和8年度にストックマネジメント計画を策定し、令和9年度から令和12年度の間に管渠点検作業を実施する予定です。

2 道の駅リニューアルと防災道の駅計画を

問 道の駅は既存施設の再利用により平成12年に「自然体感しむかつぶ」として登録され、多くの住民や観光客等に利用されています。経年劣化に伴い施設が老朽化し、道の駅の役割や取り巻く環境も変わっている中、現在のニーズにあつた道の駅に向け、建て替えや改装、リニューアルなど、道の駅の今後をどの様に考えているかを伺います。

田中村長

道内では4つの道の駅が4月にリニューアルオープンしましたが、本村の道の駅も竣工から29年が経

過し、老朽化が見られます。また、本来道の駅として建設した施設ではないことに加え、観光施設等多面的な機能という意味合いも高まっていることから、リニューアルの検討が必要と考えています。

問 国土交通省は、広域的な防災拠点に位置付けられている「防災道の駅」を全国の道の駅から79か所選定し、ハード・ソフト両面で重点的な支援を行うとしており、今後100か所の選定を目指すとしていています。交通の要衝でもある本村も「防災道の駅」選定に向けた計画を策定すべきと考えますが、村長の考えを伺います。

田中村長

防災道の駅の選定条件として、広域的な防災計画に位置付けられること、建物の耐震化、無停電化、通信の確保、災害時の業務実施可能な施設になっているかなど、一つずつクリアする必要があります。リニューアルの検討と合わせて調査検討が必要であると考えています。



しもかわ そのこ
下川 園子 議員

▶占冠保育所の調理室の活用状況

▶ごみ分別アプリの導入

1 調理室の活用状況

問 占冠保育所の運用開始にあたっては「ニーズの多様化に対応するため、未満児保育や、給食にも対応できる施設」として、調理室を設置したと認識しております。これまでどのような検討をし、現在の利用状況なのか、また高額な費用をかけて設置した調理室は活用されるべきと考えますか、考えを伺います。

田中村長

給食の要望については、保育所父母会からも出ている状況ですが、当面は給食の提供を考えておりません。

調理室の利用状況については、食育として保育士と園児と一緒に食事を作ったり、昼食として月1回のお料理会の実施（年に10回程度）や、畑でとれた作物をおやつとして提供する

ため、調理室を活用しております。今後毎月1回のお料理会を継続して実施して



占冠保育所調理室

きます。

またトマム保育所との合同お料理会を実施することや、父母会による行事食づくりなどで活用できるように検討をしています。今後様々な意見を伺いながら、活用方法を考えていきたいと思っております。

各機器の使用状況は、食器洗浄機の使用はありませんが、他の機器については、お料理会やおやつづくりに活用しております。耐用年数を超えた高額なものの買い替えが必要かどうか

は、これからの事業にに応じて考えるべき案件かと思っております。

2 ごみ分別アプリの導入

問 ごみの分別については、分別辞典や広報誌などで周知されていますが、紙媒体は手軽感がなく外国語での周知も進んでいない状況です。

近年、他自治体では利用者にとって手軽感のあるアプリの導入などが増えています。

本村では外国人居住者や短期間の居住者も多くいるため、そのようなアプリの活用が有効かと考えますが、村長の考えを伺います。

田中村長

本村在住の外国人、或いは短期間の居住者に対するごみの出し方については、本村のホームページにて日本語を含めた5か国語で、家庭ごみの分別収集について周知してお

り、適切な分別、排出方法の徹底を図っているところです。

今年度は、ごみ分別辞典を改訂し配布いたします。また、ブラウザ上で簡単に検索できる分別辞典サイトの提供を開始する予定であり、パソコン・スマートフォンから、キーワード検索が可能になります。

現在、紙媒体と分別サイトの入力作業を鋭意進めておりますので、運用開始となる前には住民の皆様にお知らせいたします。



ごみ分別辞典

- ▶森林整備、林道アリサラップ支線活用実績と今後に向けて
- ▶占冠和牛、ふるさと納税返礼品へ
- ▶米の高騰、緊急支援
- ▶公営住宅のペット飼育問題



ふじおか よしつぐ
藤岡 幸次 議員

1 森林整備、林道アリサラップ支線活用実績と今後に向けて

問 令和5年に完成の林道アリサラップ支線はどの様に活用されているのか、問題・課題とする点は何があるのか、今後に向けた計画について伺います。

田中村長

林道アリサラップ支線は、平成25年より11年の



林道アリサラップ支線

2 占冠和牛、ふるさと納税返礼品へ

歳月を経て令和5年に完成し、主伐、間伐、植栽、下刈りなど合計52・48ヘクタールの整備と育成に活用されています。課題としては自然災害による整備財源確保であり、今後は、令和10年に向けて40ヘクタールの施業を計画していきます。

問 ふるさと納税返

礼品の新たな企画の進んでいるものはあるのか、また、仕入れ加工などの取組が有効と思うが考えを伺います。

田中村長

新たな企画として、占冠和牛を返礼品に加える取組をスタートしています。仕入れ加工については地場産品基準をクリアできると判断できた物から順次追加していきます。

3 米の高騰、緊急支援

問 物価高騰、特に米の高騰が1年で2倍の状況です。子育て世帯、低所得世帯への無償の緊急支援をするべきと思うが考えを伺います。

田中村長

現在、国の施策として低所得者支援給付金等が実施され、道の施策では、お米券や牛乳券が配布されています。村単独では、プレミアム商品券の販売により、住民への生活支援を行っていますが、今後の情勢を注視して適宜判断します。

4 公営住宅のペット飼育問題

問 村の広報6月号においてペット飼育マナーの特集が組まれましたが、公営住宅におけるペット飼育が問題となつていきます。現状の認識と今後に向けた考えを

伺います。

田中村長

行政として様々な会議体において問題提起されており、認識を共有しています。現在公営住宅在住の方へ、年に一度の収入調査時に、ペット飼育の禁止と近隣の方への迷惑行為禁止の注意喚起のチラシを同封しています。今後に向けては、問題提起の現状についても広く周知すると共に、飼育者には親族に預ける、譲り渡すなどの選択肢の中で考えていただけるように地道に取り組みを進めていきます。



適正な飼育が求められます



おおたに もとえ
大谷 元江 議員

▶占冠村の災害対策は！

▶庁舎内に音声通訳ガイドシステム導入を！

1 占冠村の災害対策は！

問 高速道路拡張工事により、多くの工事関係者が移住するようになりますが、水害や地震の災害に向けて避難所の周知、備蓄品の準備が必要と考えます。工事関係者にはどのような対策をされているのか伺います。

田中村長

村民の皆様と同様に、村の防災計画等に基づき対策を進めてまいります。ネクスコ東日本や工事関係者と情報交換、情報収集に努め、災害対策の推進、啓発活動、協力関係の構築等を検討してまいります。

問 占冠第一行政区では、物産館一階のスペースを避難所とし、備蓄品の準備が必要との声がありますが、考えを伺います。

田中村長

物産館は特に指定していませんが、対応は考えていかなければと思っています。



豪雨時の国道237号線の様子
(令和4年8月 字占冠)

問 村には、J R、ネクスコ等の所有地があり、施工時から数十年も経過しております。災害の状況も変化し、被害も拡大しつつあり、土砂の流出により、下手にある民有地や民家は大変です。村として実情に合った被害対策を各団体に要望する考えがあるのか伺います。

田中村長

短時間豪雨がありますと、既存の水路が飲みきれず地表に溢れることがあります。大雨時の状況を注視し、原因の特定や現状を訴えながら、関係機関に実情に合った災害対応を要望してまいります。

2 庁舎内に音声通訳ガイドシステム導入を！

問 占冠に移住する多くの外国の方や聞き取りの鈍くなりつつある高齢者、耳の不自由な方にも有効です。優しい村づくりのためにも導入すべきと考えますが伺います。

田中村長

海外の方が在住する現状から、言葉だけでなく、文化の違いなど理解し合う必要があると考えます。言葉の理解はその始まりです。導入に向けて検討してまいります。



窓口で使用している翻訳機



意見書を提出

村民の声を
国政・道政の場に

- 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書
- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- 2025年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

議員の主な うごき

令和7年第1回占冠村議会
定例会(3月14日)以降



令和7年夏の交通安全運動街頭啓発(7月11日)

- 3月 14日 議会広報特別委員会(各委員)
- 20日 地方創生は私たちに任せて～女性議長・副議長は語る～(札幌市-副議長)
- 21日 令和6年度占冠村立占冠中央小学校第113回卒業証書授与式(各議員)
- 27日 令和6年度占冠村清流大学卒業式並びに修了式(議長)
- 31日 寄贈救急自動車受納式(議長)
- 4月 2日 富良野沿線市町村議会議長会会計監査(議長)
- 4日 春の交通安全運動街頭啓発活動(各議員)
- 7日 令和7年度占冠村立トママ学校入学式(各議員)
- 令和7年度占冠村立占冠中央小学校入学式(各議員)
- 令和7年度占冠村立占冠中学校入学式(各議員)
- 8日 上富良野駐屯地司令ほか異動に伴う歓迎会(上富良野町-議長)
- 4月 15日 議会広報特別委員会(各委員)
- 16日 第2師団長異動に伴う歓迎会(上富良野町-議長)
- 21日 議会広報特別委員会(各委員)
- 22日 全員協議会(全議員)
- 24日 令和7年度占冠村清流大学入学式並びに始業式(議長)
- 25日 令和7年度富良野地方自衛隊協力会役員会、定期総代会(上富良野町-議長)
- 5月 12日 中富良野町議会正副議長就任挨拶(正副議長)
- 16日 議会運営委員会(各委員)
- 27日～28日 令和7年度全国町村議会議長・副議長研修会(東京都-副議長)
- 31日 令和7年度占冠村立トママ学校・トママ保育所合同大運動会(各議員)
- 第3回占冠中央小学校・占冠中学校合同運動会(各議員)
- 6月 1日 上富良野駐屯地創立70周年記念式典ほか(上富良野町-議長)
- 6日 令和7年度上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会(旭川市-議長)
- 9日 議会運営委員会(各委員)
- 全員協議会(全議員)
- 10日～11日 北海道町村議会議長会第76回定期総会及び議長・事務局長研修会(札幌市-議長)
- 16日 議会運営委員会(各委員)
- 【富良野広域連合議会関係】
- 6月 3日 令和7年第1回富良野広域連合議会臨時会議案説明(広域連合議員)
- 5日 富良野広域連合議会全員協議会(富良野市-広域連合議員)
- 13日 富良野広域連合議会運営委員会(富良野市-広域連合議員)
- 富良野広域連合議会全員協議会(富良野市-広域連合議員)
- 令和7年第1回富良野広域連合議会臨時会(富良野市-広域連合議員)

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備はありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の
予定

9月定例会 → 9月19日(金)・22日(月)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

広報からのお知らせ
各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

広報からのお知らせ

▼議会広報特別委員会(後期)
委員長 藤岡 幸次
副委員長 小林 潤
委員 小尾 雅彦
委員 大谷 元江

(藤岡)

夏を楽しむ
こぶしの咲かない春が過ぎていよいよ夏の季節です。農作業も、目まぐるしく変化する天気の中で牧草収穫も何とか一段落しました。
つかの間の休息、占冠村ふるさと祭りを楽しみましょう。花火の前夜祭、親しい人を囲んでの本祭では、占冠神楽を見ながらごちそうと生ビールで乾杯。
お盆には、先祖を迎えての宴を味わいたいと思います。
お盆を過ぎれば、台風の季節となります。それぞれが備えて無事に乗り切りましょう。

編集後記



発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。